

大牟田市立白光中学校

1 本校のESDの特徴

本校は、総合的な学習の時間（白光タイム）に福祉に関わる内容を主な学習としてESDに取り組んできた。1年生では絵本教室（認知症学習）と介護体験学習（高齢者との関わり）、2年生では職場体験学習（キャリア教育）と世界遺産学習（地域文化学習）、3年生では上級学校訪問（キャリア教育）と保育体験学習（幼児との関わり）、教育課程外では、白光クッキー社と吹奏楽部による介護施設等におけるふれあい活動、生徒が自主的に参加した認知症SOSネットワーク模擬訓練など持続可能な社会づくりに貢献する活動を実施した。

この取組を通して、コミュニケーションを行う力や他者と協力する態度、つながりを尊重する態度、進んで参加する態度を育て、持続可能な社会づくりをめざす人間性豊かな生徒の育成を目指した。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

学年等	主なテーマ		
	世界遺産学習	福祉学習	キャリア教育
1年		5月…認知症絵本教室（19時間） 11月…介護体験学習（20時間）	
2年	11月…世界遺産学習（15時間）		5月…職場体験学習（24時間）
3年		11月…保育体験学習（14時間）	5月…上級学校訪問（12時間）
部活動等	5月…それいゆ祭（こもれび） 8月…明治校区ふれあい祭 9月…認知症SOSネットワーク模擬訓練 10月…しらかわ祭 11月…手鎌地区文化祭 1月…ユネスコスクール子どもサミット		

3 特徴的な活動事例

【第1学年の絵本教室（認知症学習）について】

(1) 目標：安心して認知症や高齢者が過ごせる街をつくるために、何を心がけるべきか、自分たちにできることは何かを考える。

(2) 実践の展開

- 「福祉学習」のねらいと意義を考えよう。
- 身近な大人や高齢者への気持ちを知ろう。 ・聞き取り調査を行い、情報交換をする。
- 「認知症SOSネットワーク模擬訓練」のGTから認知症について学ぼう。
- 認知症について理解を深めよう。

・認知症絵本の読み聞かせ（絵本教室） ・寸劇づくり ・寸劇発表会

(3) 生徒たちの様子

「絵本教室」を通して、認知症について理解を深めた。また「寸劇づくり」を通して、認知症を身近な問題として捉え、持続可能な社会づくりについて考えることができた。



【第2学年の職場体験学習について】

(1) 目標：職場体験を通して、将来の生き方を考え、自分の進路設計に役立てる。

(2) 実践の展開

○職場体験の意義について考え、目標を設定しよう。

○GTから職場の話聞き、働くために必要な心構えを知ろう。

・職場での心構えやマナーについて ・事前打合せ ・自己紹介カード作成

○事前学習で学んだことを職場で実践しよう。

○職場で学んだことをまとめ、発表しよう。

○自己目標を設定することで、職場体験で学んだことを今後の生活や進路に生かそう。

(3) 生徒たちの様子

職場体験では、働く意義を考えながら各職種の仕事を一生懸命取り組んでいた。まとめでは、体験で学んだことを今後の進路や生活に生かそうとする感想が多く見られた。

【第3学年の保育体験学習について】

(1) 目標：保育体験が福祉学習の一環であることを理解させ、これからの生活に役立つ能力や態度を身につける。

(2) 実践の展開

○幼児教育の意義を理解し、保育体験学習の目標を考えよう。

○おもちゃ作りの計画書・材料表を作成しよう。

・園児にとっての遊びの意義を考える。 ・おもちゃ作りの計画表を作成する。

・安全に配慮した材料を考え、材料表を作成する。

○おもちゃ遊びの企画書を作成し、事前打合せで情報を集めよう。

・事前打合せで園の先生に遊びを発表し、配慮事項や遊びの改善点の情報を集める。

○紹介用の名札を作成したり、おもちゃ遊びの改良をしよう。

(3) 生徒たちの様子

おもちゃ遊びを通して幼児教育の意義を考え、園児と触れ合うことでつながりを尊重したり、園の先生や班員と協力して体験活動に取り組む姿が見られた。

【教育活動外の取組…認知症SOSネットワーク模擬訓練について】

(1) 生徒たちの様子

白光タイムで学んだ福祉学習を生かして、自主的に参加を申し込んだ生徒が地域の方とふれあいながら、持続可能な社会づくりに貢献するために意欲的に取り組んでいた。



4 本年度の成果と課題

○成果

・研究発表会を通して、計画的に全職員で持続可能な社会づくりをめざす人間性豊かな生徒を育てることができた。

○課題

・ESDの視点に立った学習指導のさらなる工夫と「つなぐ」ことを意識した教育課程をつくる必要がある。